

## 第1回 緑化フェア幹事会 議事録

令和4（2022）年9月30日

### ■次第と記録記載頁

1	開会	3
2	副会長挨拶	4
3	川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェアの取組状況について	4
4	緑化フェア幹事会の設置について	4
5	全国都市緑化かわさきフェア会場計画と多様な主体との協働・共創の取組について	12
6	意見交換	17
7	その他	32
8	閉会	33

## ■日時と場所

日時：令和4年9月30日（金）午前9時30分～午前11時15分  
場所：川崎市役所第3庁舎 18階 大会議室

## ■出席者

幹事

	分野	氏名（敬称略）	所属
1	学識	福岡 孝則	東京農業大学地域環境科学部造園科学科 准教授
2	協働推進	栗原 国男	公園緑地協会嘱託 東京農業大学非常勤講師
3	出展展示	深町 貴子	園芸家：多摩区在住
4	交通対策	米川 僚一	一般社団法人 川崎市交通安全協会 専務理事
5	会場運営	渡辺 広之	京都芸術大学芸術教養センター 客員教授
6	行催事	反町 充宏	一般社団法人 川崎市商店街連合会 理事・青年部長
7	広報・PR	大西 絵満	かわさき市民放送株式会社 代表取締役
8	植物調達	矢澤 和洋	セレサ川崎農業協同組合営農経済本部組織部組織支援課 課長代理
9	植物管理	今井 伸之	川崎市造園建設業協同組合 副理事長
10	飲食・物販	萩原 ひとみ	一般社団法人 川崎市観光協会

藤倉 実行委員会副会長

福田 建設緑政局長

公益財団法人 都市緑化機構 上野 企画調査部長

事務局（木村次長 石垣課長 藤島課長 他）

その他（事務局・関連局職員、委託業者、傍聴者）注：今回傍聴者なし

## ■配布資料

資料1 川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェアの取組状況について

資料2 かわさきフェア会場計画と多様な主体との協働・共創の取組 論点メモ

資料3 全国都市緑化かわさきフェア会場計画と多様な主体との協働・共創の取組について

資料4 かわさき みどりの共創プロジェクト2022

## ■会議録

### 1 開会

#### 事務局（木村次長）

それでは、定刻になりましたので、ただ今から第1回緑化フェア幹事会を開催させていただきます。なお、委員の大西様につきましては、10分ほど遅れるという御連絡をいただいておりますので、このまま進めさせていただきたいと存じます。

本日は大変お忙しい中、当幹事会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は、当幹事会の事務局を務めさせていただいております、川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会事務局次長、建設緑政局緑化フェア推進室の木村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

幹事会の幹事長の選出までの間、私が議事進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

まず議事に先立ちまして、本日の幹事会は公開とさせていただきます。また、本日の会議録に個々の発言者氏名を記載することをあらかじめ御了承ください。なお、本日の傍聴者は特いらっしゃいません。また合わせまして、事務局以外の本市職員も出席しておりますことを御了承ください。

それでは、会議に先立ちまして資料の確認をさせていただきます。本日の次第、座席表に続きまして、資料1 A3横綴じ、川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェアの取組状況について、資料2 A4縦、かわさきフェア会場計画と多様な主体との協働・共創の取組 論点メモ、資料3 A3横綴じ、全国都市緑化かわさきフェア会場計画と多様な主体との協働・共創の取組について、資料4 A4横綴じで、かわさき みどりの共創プロジェクト2022。

資料の抜けなどがございましたら、会議の途中でも構いませんので、事務局までお申し付けくださるよう、お願い申し上げます。現時点で、資料の抜けなどございますでしょうか。よろしいでしょうか。

### 2 副会長挨拶

#### 事務局（木村次長）

それでは、次第の2に移らせていただき、開会に先立ちまして実行委員会の副会長であります、藤倉副市長より御挨拶申し上げます。

#### 藤倉 実行委員会副会長（副市長）

改めまして、おはようございます。副市長の藤倉でございます。幹事会の開催に先立ちま

して、一言御挨拶を申し上げさせていただきます。

本日は、大変ご多忙のところ、第1回緑化フェア幹事会に御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、皆様におかれましては、今回の幹事就任についてお引き受けをいただきまして、重ねて感謝申し上げます。これからもどうぞ、よろしくお願い申し上げます。

さて、川崎市でございますけれども、2年後の令和6年7月1日に市制100周年を迎えます。この100周年記念事業にあたりましては、様々、これから展開をしてみたいと思いますが、この中の象徴的な事業として、全国都市緑化かわさきフェアの開催を位置づけているところでございます。

この100周年記念事業と緑化フェアを、川崎市としては一体として推進するために、今月の9月1日に、270を超える企業・団体の皆様に御参画をいただきまして、実行委員会を設立させていただきました。今回の幹事会につきましては、実行委員会の中で、緑化フェアに関する専門的な取組内容について御審議をいただきたいというふうに考えているところでございます。

緑化フェア自体につきましては、令和6年度の秋とさらに春、2回開催したいと今は予定をしているところでございますが、我々といたしましては、このフェアを単なる一過性のイベントではなく、このフェアを契機として次の100年を見据えて、緑を川崎の新たな文化にするべく様々なイノベーションを起こすような取組を考えていきたいと思っております。市民の皆様、また各企業、団体など多くの皆様とつながって、これから広げていきたいというふうに考えてございます。

今回、この幹事会としましては各分野の専門家の方々にお声がけしてお集まりをいただいているところでございますが、それぞれの皆様の分野にとらわれず、忌憚のない御意見、御議論をいただきたいというふうに考えてございます。

ぜひ、川崎ならではの、川崎らしい緑化フェアにしたいと思っておりますので、このフェアをきっかけに市民の皆様が「みどりでつなげる。みんながつながる。」新たな一助となることを祈念申し上げまして、一言御挨拶とさせていただきます。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

#### 事務局（木村次長）

ありがとうございます。

なお、藤倉副市長につきましては、このあとの公務の都合もございまして、途中で退席させていただきますことをあらかじめ御了承ください。

### 3 川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェアの取組状況について

#### 4 緑化フェア幹事会の設置について

#### 事務局（木村次長）

それでは、当幹事会の位置づけなどについて、次第3及び次第4を一括で御説明させていただきます。

## ＜資料 1 の説明＞

まず、川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェアの取組状況についてということで資料 1 をお付けしてございますので、こちらの方をお開きいただければと思います。川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェアについて、左手はこれまでの成果といたしまして、令和 4 年、今年の 3 月に川崎市市制 100 周年記念事業の基本的な考え方をまとめております。少し前後いたしますが、括弧 2 といたしまして、全国都市緑化かわさきフェアにつきましては、2 月に全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子を策定しております。

それを念頭にいたしまして、下段の 2 といたしまして、実行委員会の設立に向けまして、基本的な考え方を踏まえて、オール川崎市の組織体である実行委員会設立に向け、準備会を設立いたしまして、2 回ほど御議論をいただいております。

その中で、⑤協議事項ですけれども、100 周年記念事業及び全国都市緑化かわさきフェアの推進体制、それから市制 100 周年記念事業のコンセプト、合わせて緑化フェアのテーマ・ロゴの考え方等について御協議をいただけてきたところでございます。

資料の右手の方に移らせていただきまして、実行委員会としまして、9 月 1 日に総会を開かせていただきましたけれども、その中で、括弧 1 の目的、括弧 2 の事業に合わせまして、括弧 4 といたしまして組織等について御承認をいただいたところでございます。

右下の四角に囲んだところで、組織等について簡単な構成を示させていただいておりますけれども、今回の実行委員会につきましては、先ほど副市長からの御挨拶にもございましたとおり、270 を超える市内におられる企業、市民に御参加をいただいて、オール川崎市で取り組んでいく体制を整えたところでございますが、その総会は組織としてはやはり大きな組織になってまいりますので、審議する機関として幹事会を置いて動かしていくという体制を組んでおります。市制 100 周年の幹事会と、緑化フェアにつきましては、市制 100 周年からはみでると言いますか、国としての行政の部分がございまして、そうしたところを議論する場として 2 つの幹事会で動かしていこうという体制を作っております。それぞれに色々な方々に入っていただくような仕掛けを検討していくようなことで、確認をいただいたところでございます。

続きまして、1 枚おめくりいただきまして、上段には、9 月 1 日に開催した実行委員会の概要を掲載させていただいておりますけれども、御確認をいただきたいのは、下段のスケジュールのところでございます。まずは「体制」と書かせていただいている、表で言いますと中段のところ、うす緑でハッチをかけさせていただいたところに、フェア幹事会と記載させていただいておりますけれども、年 2～3 回程度の会議開催ということで書かせていただいております。今年度はもう下半期に入っておりますので、今回を第 1 回目とさせていただき、年度末に近いところでまた 1 回開かせていただくことを予定しております。ただその間にそれぞれ色々な分野につきまして、今回、御就任いただいている委員の方々に、適宜個別のヒアリング等をさせていただければと考えております。

最終的に、整理をさせていただいた内容で、年度末の幹事会で御確認いただくといったような流れでいければと思っております。期間といたしましては、フェア開催後の確認、総括をしていただくようなところまでお付き合いいただければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

また、このスケジュールの最下段、フェアと書かせていただいているところの中間で、基本・実施計画策定準備という表現がございますけれども、具体的な実行計画を立てていくにあたりまして、令和5年度の、可能であれば8月頃までに基本・実施計画をつくっていきたいというふうに考えておりますので、そこのところが1つのランドマークであると思っております。このあたりがまず大事な目標であり、色々と資料の作成などがありますので、御審議いただければと思います。

資料1につきましては、以上でございます。

#### <幹事長・副幹事長・幹事の確認・挨拶>

続きまして、次第の4、緑化フェア幹事会の設置についてでございますが、設立総会の議案第2号としてお示ししました市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会会則の第22条、緑化フェア幹事会について記載したものでございます。第1項に記載のとおり、当幹事会はフェアに関する事項について、専門的な観点から審議、助言を行うため、実行委員会に設置するもので、当幹事会は、幹事長、副幹事長及び幹事をもって構成し、幹事長及び副幹事長は会長が指名することとしております。

ここで幹事会名簿を改めて御確認いただければと思います。当幹事会の幹事は、記載の10名とさせていただきます。幹事長及び副幹事長につきましては、会長である福田市長より、幹事長を福岡孝則様、副幹事長を栗原国男様と御指名がございましたが、皆さまよろしいでしょうか。

御確認をいただきました。

それでは、会長の指名のとおり、今後進めさせていただきたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

それではまず、幹事長、副幹事長様より、一言御挨拶をちょうだいできればと思います。初めに、幹事長に御就任いただきました、東京農業大学地域環境科学部造園科学科准教授の福岡孝則様、どうぞよろしくようお願いいたします。

#### 福岡 幹事長

皆様、おはようございます。ただ今、御紹介いただきました、東京農業大学の福岡と申します。私は、専門がランドスケープデザインということで、あらゆる屋外空間の計画設計を大学の方で教えております。大体うちの学科は600名、緑を介して、公務員やあらゆる緑に関係する産業を目指す学生たちを日々育てております。私は、実は大学の教員の歴は浅く

て10年ほどです。その前はアメリカ、ドイツ、色々な国でランドスケープのデザインの業務を担当してまいりました。

今回緑化フェアということで、市制100周年記念事業と合わせ、喜ばしいことなのですが、同時に緑化へのあり方というもの非常に大きく問われており、新しいあり方というのは何なのかということを考える時代にきていると思っております。

今回、市民総参加型の緑化フェアということで、来年は仙台、今年は恵庭市と熊本市で開催されましたが、恵庭市というのは非常に小さい自治体ですけれども、市民の皆様が1つになる本当に素晴らしい緑化フェアをされたなと思っております。

川崎市は、都市から里山の自然まで非常に多くの豊かな自然がみられる自治体ですけれども、市民がどういうふうにして参加できるのか、また、この緑化フェアの後にどういうふうにして、川崎市に豊かな屋外空間や緑の空間を残せるのか、そこにどういうふうにして関わるのか、様々な課題があろうかと思っております。

委員名簿を見ますと、非常に多岐にわたる専門の皆様が御参加いただいておりますので、ぜひとも、議論を盛り上げていけるよう、支えていきたいと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。

#### 事務局（木村次長）

ありがとうございます。それでは続きまして、副幹事長に御就任いただきました、公園緑地協会嘱託職員、東京農業大学非常勤講師であります、栗原国男様、お願いいたします。

#### 栗原 副幹事長

皆様、おはようございます。このたび、副幹事長という非常に大変な仕事を仰せつかりまして、身の引き締まる思いですが、私は、普段は公園緑地協会に嘱託で勤めております。主に緑関係と言いましても、緑化、花を中心としたような形で、ボランティアさんの育成とか、支援などをさせていただいております。皆さん御存知だと思いますけれども、川崎市は、花と緑のコンクールがあって、たくさんの方が、花壇づくりを地域でされていまして、そういった方々は、非常に心強い味方だと、私は常日頃考えております。先ほど副市長からお話がありましたように、川崎らしい緑化フェアとはどういうものがあるかというのを、これから皆様と一緒に考えていきたいと思っております。

もうひとつ、今、福岡先生からお話がありましたが、東京農大で非常勤講師をさせていただいておまして、地域創成科学科という新しい学科ですけれども、主にそこで、地域づくりとかまちづくりを学生たちと一緒にやっています。ですので、この緑化フェア、新しい地域づくりに、何かヒントになるようなことができればと思っておりますので、ぜひ皆様のお力をお借りして、この緑化フェアをうまく進めていきたいなと思っております。よろしく願いいたします。

#### 事務局（木村次長）

ありがとうございました。

それでは名簿順で、幹事の皆様を御紹介いたしますので、お名前をお呼びいたしましたら、一言頂戴できればと存じます。

まず、園芸家で多摩区在住の深町貴子様、よろしく願いいたします。

#### 深町 幹事

園芸家の深町貴子と申します。よろしく願いいたします。

私は、神奈川県川崎市生まれ、川崎市育ち、川崎市在住で、川崎市から一步も出たことがないです。それで、本当に川崎市が大好きでなんです。海と川と山があって、自然がたくさんあって、端から端まで行っても、やっぱりどこへ行っても楽しい、というのが川崎市なのです。その川崎市を、いつか、色々な人に見ていただきたい、体感していただきたい、そういうお仕事をしたい、と思っていましたので、今回このような形で、御協力させていただくことが本当に光栄で、とにかく頑張って仕事をさせていただきますので、どうぞ皆さん、よろしく願いいたします。

#### 事務局（木村次長）

ありがとうございます。

それでは、続きまして一般社団法人川崎市交通安全協会の専務理事であります米川僚一様、お願いいたします。

#### 米川 幹事

御紹介いただきました、川崎市交通安全協会の米川と申します。私は、前任は、川崎市に来る前は、神奈川県警に40年ほど勤務をしております、その大半が交通部門に従事しておりました。色々な大規模イベントの交通規制ですとか、その前には相模原の緑化フェアがございまして、そちらの時は、道路標識だとか安全施設の整備といったことにも従事させていただきました。今回は皇室の方の御参加もあり、交通規制等の厳しい中で、開催されていくということを耳にしましたので、是非、県警で養った経験を活かせれば幸いだと思っております。

皆さんと一緒に協力して進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 事務局（木村次長）

ありがとうございました。

続きまして、京都芸術大学芸術教養センター客員教授であります渡辺広之様、お願いいたします。



## 渡辺 幹事

皆様、おはようございます。ただ今御紹介いただきました渡辺です。

なぜ京都の人間が川崎かと。京都でももちろん色々な形でやっておりますけれども、もともと、あまり名前を出したくはないのですが、電通で40年、イベント関係、博覧会、もちろん緑化フェアとしても、東京都のフェアなど、幅広く色々な形の部門をやってきたのが前歴でございます。途中から、社会的な課題ということをきちんとやるセクションを電通の中につくりまして、ソーシャルプランニング、ソーシャルプロデュース、社会の課題をきちんとアクションしていく、そういう分野のエンジニアとしてやってきておりまして、京都芸術大学は幅広い芸術部門をやっているのですが、先ほどの栗原さんの話にありましたように、私も地方創生、地域、観光まちづくりを含めて色々全国のお仕事をさせていただき、川崎との接点としては計画再編の際も委員をさせていただきましたけれども、等々力緑地の時の委員もさせていただいて、そういう意味では大変お世話になっています。年の功もありまして、経験値も含めて、川崎の仕事に尽力させていただきながら、新しいものにも取り組みますので、是非、皆さまと御協力していきたいと思っております。

よろしく願いいたします。

## 事務局（木村次長）

続きまして、一般社団法人川崎市商店街連合会理事・青年部長であります反町充宏様、よろしく願いいたします。

## 反町 幹事

はい、一般社団法人川崎市商店街連合会理事・青年部長の反町充宏と申します。

商店街連合会で来ておりますが、本業というところでは、NPO法人カワサキミュージックジャストというNPO法人で、川崎で色々な音楽イベントをつくる仕事をさせていただいております。この秋は、川崎はイベント、イベント、イベントで、凄いことになっておりますが、まだコロナ禍で完全に乗り越えてはおりませんが、いよいよ盛り上がってきたな、というところなんです。それこそ私個人は、生まれも育ちも川崎でございます。川崎から一歩も出ていないというところで、本当に川崎への思いがあります。

色々な市内の文化・伝統をつくっていらっしゃる方々、関わっていらっしゃる方、凄い川崎への思いをもっていらっしゃる方がたくさんいるんです。私はその辺りのつながりには少し自信がありますので、ぜひそういう方を、この緑化フェアをとにかく成功させるために、いかに引き込んで、巻き込んで、一体になって作っていくかというところで、私が果たせる役割があるのではないかなと思います。

頑張ります。ぜひ、よろしく願いいたします。

## 事務局（木村次長）

続きまして、かわさき市民放送株式会社、代表取締役の大西絵満様、お願いいたします。

## 大西 幹事

はじめまして。かわさき市民放送株式会社の大西絵満と申します。どうぞよろしく願いいたします。

申し訳ございません、本日の会議冒頭、参加が遅れまして大変失礼いたしました。私は、3歳と5歳の子どもがおりまして、子どもの入院などありまして、今朝は想定外の事態にばたばたしてしまいました。ご迷惑をおかけいたしまして誠に申し訳ございません。

この5歳の娘は森や自然が大好きでして、私自身こういったフェア携わらせていただくということは本当に楽しみでございます。特に広報・PR部門において、どんなことができるのかということは、これから皆さんと意見交換させていただき、御指導いただきながら、かわさき市民放送として、そして川崎にある沢山のメディアの皆さまを巻き込みながら、模索していきたいと思っています。

私がやってきたことを簡単にふれさせていただきます。最初のキャリアとしては音楽業界を経験し、営業、楽曲のプロモーション、アーティストのマネジメントを担当しました。そのあと株式会社ディー・エヌ・エーという会社に転職いたしました。神奈川ではベイスターズ、川崎では川崎ブレイブサンダース、相模原ではSC相模原で大変お世話になっております。ディー・エヌ・エーはITの会社ですので、私はプラットフォームサービスやゲームの開発現場でプロデューサーを経験した後に、本社人事に10年ほど在籍し、人材育成や組織開発、中途採用、その中でHR広報、PRも担当しておりました。そして、昨年6月から、かわさきFMの方に出向でまいりまして、代表に就任いたしました。

自身のキャリアの中では、沢山の人の関わりながらイベントなど企画する中で、対外的な発信をしたり、仲間作りやパートナーさんとの協業、というようなことを、一貫してやって来ております。こういった経歴やキャリアを踏まえて、かわさき市民放送として今回の緑化フェアの成功に向けて、尽力してまいります。皆さまとは色々と御意見を交換させていただきながら頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

## 事務局（木村次長）

ありがとうございました。

続きましてセレサ川崎農業協同組合営農経済本部組織部組織支援課、課長代理であられます矢澤和洋様、お願いいたします。

## 矢澤 幹事

改めまして、おはようございます、セレサ川崎農業協同組合の矢澤と申します。よろしく願いいたします。

私は、セレサ川崎に入って15年目ですが、入職してから農業のほうの部署に配属し、配属場所といたしましては、柿生に6年、宮前地区、橘地区、そして現在、宮前区にある本店に配属しております。柿生地区においては、里山、農業振興地域というところで、黒川、岡上、早野があります。早野においては、ひまわり畑など遊休農地の有効活用というところでも、農地の価値を市民の方へ醸成を図るというところで取り組んでおります。

緑化フェアを機に、さらに市民の方に対して、緑といったところの価値をさらに伝えていきたい、取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思っております。

担当としては植物調達というところで、市内の花卉生産者と協力しながら調達・提供がうまくいくよう努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

#### 事務局（木村次長）

続きまして、川崎市造園建設業協同組合副理事長の今井伸之様、よろしくお願ひいたします。

#### 今井 幹事

おはようございます。川崎市造園建設業協同組合の今井でございます。

昨年、一昨年の懇談会に続き、また今回も幹事会に関わらせていただきます。よろしくお願ひします。私は、農大の造園を卒業しまして、修行をして、約30年前に川崎に戻ってきまして、自分の家の事業を継いだのでございますけれども、約30年間、川崎の緑に関して色々と携わらせていただきました。そういうわけで、色々な想いがあり、また今後フェアの、そしてフェアの後の川崎市の緑に関しても、色々と考えが出せればと思っております。

また、造園組合は、同じく川崎でお世話になっている数十社がおりますので、その中で意見などをまとめていければと思っております。よろしくお願ひいたします。

#### 事務局（木村次長）

続きまして、一般社団法人川崎市観光協会理事であられます、萩原ひとみ様、よろしくお願ひいたします。

#### 萩原 幹事

皆さんおはようございます。萩原でございます。どうぞ、よろしくお願ひします。

懇談会に引き続き、また、こちらの方に、フェアの方に参加させていただきありがとうございます。一応、観光協会の理事ということで出させていただきますけれども、飲食と物販の担当ということで、今、食品衛生協会の方の理事もさせていただいたりしておりますので、ホテルですとかレストランとか、そういうところにも声をかけて広くこの会を盛り上げていければいいなと思っております。

100周年の時に、緑化のお話がメインのイベントになるということは、脱炭素を掲げております川崎市にとって非常に象徴的な出来事かなというふうに思いますので、これをやることによって、川崎市の皆さんや他の方々が凄く緑に向かって気持ちを盛り上げていき、SDGsとか、色々な意味で環境にも素晴らしいということが浸透するといいなと思っております。それが長く続きますようお願いしております。個人的にも、中原の区の花のパンジーの花街道を、18年間、区役所と一緒に広げてきましたけれども、それが今度、今年11月に等々力で大きくやります。それが中原区のキックオフになっておりますので、これから頑張っていきたいと思っております。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

#### 事務局（木村次長）

ありがとうございます。それでは皆様、どうぞ、よろしくお願いいたします。

また、本日は、緑化フェアにおける主催者となります公益財団法人都市緑化機構より上野芳裕企画調査部長がいらっしゃいますので、御紹介をさせていただきます。

#### 上野 企画調査部長（都市緑化機構）

都市緑化機構の上野と申します。よろしくお願いいたします。

#### 事務局（木村次長）

それでは、これからの進行は福岡幹事長にお願いしたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

## 5 全国都市緑化かわさきフェア 会場計画と多様な主体との協働・共創の取組について

#### 福岡 幹事長

はい、それでは、私が進行を務めさせていただきます。続きまして次第の5番。「全国都市緑化かわさきフェア 会場計画と多様な主体との協働・共創の取組について」に移らせていただきます。

事務局より資料3、4に基づき御説明をお願いします。

#### 事務局（石垣課長）

緑化フェア推進室、石垣と申します。よろしくお願いいたします。

資料3と資料4を使いまして、御説明をさせていただきます。

#### <資料3の説明>

まずはA3の横のホチキス止め、資料3を御覧ください。こちらにつきましては、緑化フ

フェアを進める上で、これから皆さんに御議論いただきたい内容やこれまでの成果と検討課題についてまとめた資料でございます。

左側、1、川崎市市制 100 周年記念事業基本計画、Colors,Future!Actions ガイド。こちらにつきましては、市制 100 周年記念事業の全体的な考え方を示したものでございます。

川崎市におきましては、平成 28 年度に、Colors,Future!、色々って未来。というブランドメッセージを策定いたしまして、多様性を可能性ということで、川崎の原動力は多様性であると、そして次の 100 年に向けて新しい川崎を生み出していこうということを謳っております。これを令和 6 年の市制 100 周年・緑化フェアを契機に成長の時代に変えていく、そしてその変えていく場をプラットフォームといたしまして Colors,Future!Actions というプラットフォームの名前を付けております。

この進め方でございますけれども、下に 15 個のアイコン、ラベルを設定しておりまして、この生み出された事業、既存の事業、こういったものに、みんなが楽しめるような、ワクワクするようなこういったラベルをつけて、皆さんと事業を推進していきたいと考えております。

その中でも緑化フェアにつきましては、象徴的な事業といたしまして、実行委員会で様々な事業を展開してまいりたいと考えております。

右側でございますが、緑化フェアの基本計画骨子、こちらは冒頭に御説明させていただきましたが、本年 2 月に策定をいたしまして、この中でも多くの方に関わっていただいております。

繰り返しになりますが、かわさきフェアにつきましては、単なる一過性のイベントではなくて、かわさきフェアを契機としてみどりのまちづくりをしていくんだと、そういった、決意宣言のような、そういった位置づけもでございます。目指すべき将来像といたしまして、「みどりでつなげる、暮らしやすく住み続けたいまち」。こういった将来像を目指して、緑化フェアを推進していきたいと思っております。

次のページを御覧ください。3 として行催事計画と書いてございます。こちらにつきましては、来年の 8 月を目安に基本・実施計画を作ってまいりますけれども、そこに向けて緑化フェアを具体的に進めていく上で、各分野の計画を作っていこうというものでございます。

まず、大きなものとして、コンセプト、基本方針は書かれているとおりでございます。川崎が持つポテンシャル、みどりが持つポテンシャル、こういったものを有効に使いまして、様々な市民がつながって行動するきっかけ、市民総参加型のフェアとなるよう、取組を展開していくということで、コンセプトは「Green For All!でみどりのムーブメントを起こします」ということです。

基本方針として 5 つ載せさせていただいております。緑の「力」を感じるフェア、新たな都市緑化の「形」を作るフェア、緑でつながる「行動」を生み出すフェア、社会・経済的価値を実現できるフェア、多様性の文化を育むフェア、こうしたものを目指していきたいと思っております。

2 番目、基本的事項といたしまして、名称は「第 41 回全国都市緑化かわさきフェア」。主催者といたしましては、川崎市と公益財団法人都市緑化機構の共催となりまして、実施主体といたしましては、実行委員会となっております。開催期間につきましては、令和 6 年の 10 月から 11 月の 30 日間でそれから令和 7 年の 3 月の 30 日間程度と、2 回に分けて、これも多分全国的に珍しい取組だと思えますけれども、行っていきたいと思えます。

会場につきましては、市内全域を会場することを基本といたしますが、コア会場といたしまして、富士見公園、等々力緑地、生田緑地を位置付けてございます。

その他に、協賛・連携会場といたしまして、商業施設、公共施設、民間の施設、そういったところを合わせまして一体的にフェア会場にしていきたいと考えております。

赤の囲みで書いてある下の部分でございますが、こちらの基本計画骨子の部分から、今回の実行委員会の設立までの間に、やっと決まったというところでございますが、統一主題「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」、そして愛称が「Green For All KAWASAKI 2024」、シンボルマークが、ここに大きくでておりますけれども、7 枚の葉っぱが、7 区を象徴しておりますが、ゆるやかにつながって、重なっている。緑は一色ではなくて、色々な色の緑をつけて、色々な市民がいる、そういったつながりが、どんどん広がっていく、全体として花が開いている、そういったようなイメージでつくってございます。

右側を御覧ください。各種計画の構成というところで、今回お集まりいただきました皆様方は、各分野の代表、専門家ということで、お呼びさせていただいております。来年度に向けて計画を作るにあたり、検討を進めて、深めていくためには単独でヒアリングをさせていただくこともございますけれども、ある程度、色々な分野が交わるということが大事だと思っておりますので少し、色々な方と一緒にお話をさせていただきたい、というところで、少し組み替えて検討をしていきたいと思っておりますので、今後、個別ヒアリングを行う上では、例えば、広報・PR のことだと、広報の専門家の方だけではなく、行催事の話とか、色々な分野が関わってくると思っておりますので、そういったまとまったグループでのヒアリングなども考えさせていただきたいと思っております。

下の各種計画の内容というところで、会場整備の基本的な考え方でございますけれども、かわさきフェアにつきましては、街の特色、地域の多彩な緑、活動する人々、そういったものをかけ合わせて、質の高い緑とオープンスペースをつくっていく、そして川崎らしい都市の中の緑の形を発信する機会としていきたい、そのためにエリアという考え方を作っております。エリアでは、各コア会場、富士見、等々力、生田と駅との主要動線、それからその周辺、そういったものをエリアと考えております。エリアごとに、しっかりとコンセプトを作ってやっていきたいと思っております。

右側、囲みでございます、富士見エリアにつきましては、多様性にみどりを掛け合わせていく、等々力エリアにつきましては、「体験・体感」、生田エリアについては「歴史・文化」というふうにしたいと思っております。

次のページを御覧ください。ここから 2 ページにわたりまして各エリアの考え方を示し

でございます。詳しいところは、後ほど御覧いただきたいと思うのですが、富士見エリアについては、特に中心的な会場と考えておりますし、川崎駅には一大商業施設もございますので、そういったところとの連携とか、東海道との間の新しい取組等を検討していきたいと思っております。

等々力につきましては、御存じのとおり、多摩川や二ヶ領用水といった水辺というのが一つのキーワードになろうかと思っております。それからフロンターレですとか、その他のプロスポーツもございますので、そういったスポーツ体験・体感、そういったものをキーワードに考えております。

次のページを御覧ください。生田エリアにつきましては、生田緑地というものが、「生田緑地マネジメント会議」という共同のプラットフォームと呼んでおりますが、そこを中心に市民協働の歴史がありますので、そことの連携、そこを中心的なものとしたしまして、取組の方を今後検討していきたいと思っております。また、文化施設が集中しているエリアでもありますので、学びとか歴史、そういったものを大事にしていきたいと思っております。

右側の協賛・連携会場でございますけれども、市内全域で緑化フェアをやっていく、市民総参加でやっていく、というところで、各会場に集中するものと、地域で普段から活動されている人、そういった方もいらっしゃると思いますので、そういった方の活動の発表ですとか、その普段頑張っている方々、そういう方々について、スポットをあてられるような展開をしていきたいと考えております。

次のページを御覧ください。ここからが、具体的なひとつひとつの分野ごとの計画に関してでございますけれども、1-2の出展展示では、各エリアのコンセプトを大事にして、多様性といっても、色々ごちゃごちゃにやるのが多様性ではなく、やはり何か芯を持って多様だということを表現していきたいと考えておりますので、そういったエリアの持つ魅力を発信しながら展開していきたいと思っております。

また、1-3 植物調達でございますけれども、今回2期開催ということでございまして、植物調達や維持管理も課題になろうかと思っておりますので、御検討いただけたらと思っております。

右側にまいりまして、会場運営でございます。繰り返しになりますが、市民総参加と謳っておりますので、どのような方々と一緒に会場を運営していったり、作っていくかということが大事ななと思っております。

右下にまいりまして、「交通輸送」でございます。川崎市は御存じのとおり、細長い地形でございますので、人口が154万人おりますし、交通渋滞も残念ながらありますので、どうやって考えていったらいいのか、そういったところも伺えたらなと思っております。

次のページを御覧ください。こちら繰り返しになりますが、協働推進でございます。市民の行動を変えていくというところが、やはり今回のフェアの大事なところかなと思っております。一過性にとどまらない、市民総参加型のフェアをするために、どうやってフェア開催のレガシーを残していくか、そういったところの検討をしていく必要があるかと思つ

ています。

「広報・PR」といたしまして、100周年記念事業の中の緑化フェアという位置づけもございまして、緑の歴史は川崎の歴史でもございます。そういったところを、戦略的に展開していくための検討を進めていきたいと思っております。

また、行催事につきましては、先ほど反町さんからもお話がありましたように、既存イベントは大変なことになっているようでございますので、色々な事業を、イベントなどそういったものとどう効果的に巻き込んでいくかとか、そういったところを一緒に考えていければ、と思っております。

最後に、「飲食・物販」でございませけれども、地域の特産品等、もしかしたら既存の特産品ではなくて、これから新しい特産品が生まれるかもしれません。そういったものも見据えて考えていけたらと思っております。

資料3につきましては以上です

#### <資料4の説明>

続きまして、資料4の説明に入らせていただきます。

こちらにつきましては、「かわさき みどりの共創プロジェクト2022 企画概要」という資料でございます。こちら、なかなか説明がしづらい事業ではございますが、まず、キーワードとしては「共創」でございます。共に創っていく、新しい価値を一緒に作っていくというところでございます。既存の事業ですと、役所が何かをやりようとした場合には、色々計画を立てて、予算をとって、実現するのに大体1年、2年かかる。また、企業の方とか市民の方が何かをやりたいという時に、役所としてできるのは、例えば場所を貸し出すとか、また補助金を出すとか、そういう一方的な支援といったものが多かったと思うのですが、今回は、この緑化フェアを通じて、試験的な取組といたしまして、そういった今までのやり方を少し変えてチャレンジしていきたいと考えております。

具体的には、企業の皆様方たちと行政が一緒にテーブルで考えて新しい価値を生み出す、何かを一緒に考えていきたいと思います、ということ、この半年間でまずやっていきたいと思っております。

次のページを御覧ください。実は来週の火曜日に第1回目がございます。1回目につきましては、まず共創の考え方をまず共有する。それから緑化フェアで何を目標しているのかというのを共有する。それから、皆様と知り合う、とかです。そういったような目的のオンラインのオリエンテーションをさせていただいて、具体的には10月20日からの4回のワークショップを通じまして、先ほど申しましたような新しい取組を進めていきたいと思っております。

今年度につきましては、仮に置かせていただいておりますが、2月24日にパネルディスカッションという形でその成果の発表と、緑化フェアの気運醸成もあって、何かできないかというところで考えております。大事にしたいのは、やはり、みどりだけで何かを考えるとということではなくて、みどりと何かを掛け合わせて何ができるか、どんな地域の課題が解決



できるだろうか、もちろん企業に参加していただくので、企業の価値も上げられないか、そういうような取組をしていきたいと考えております。

資料3、4を合わせまして、説明は以上でございます。

## 6 意見交換

### 福岡 幹事長

はい、ありがとうございます。資料が少し多いですが、続きまして、次第6の意見交換に移っていききたいと思います。

先ほど、事務局から御説明がありました資料3と4について、幹事の皆様から御意見いただきたいと思っております。御意見をいただくにあたりまして、まず事務局から、本日議論したいポイントについて、簡単に説明をお願いします。

### 事務局（石垣課長）

#### <資料2の説明>

引き続き御説明させていただきます。資料2、A4縦の資料を御覧ください。

こちらが、先ほど御説明をさせていただきました資料3の論点を抜き出したものでございます。

私どもといたしましては、緑化フェアを開催するにあたり、こういったものを決めていかなければいけないというふうに考えています。特にこの青字の部分が、特に今回、今日のこの会議で実は特にお話し合いをしていただきたい、というところでございます。開催期間、2期制というところと、あと日にちです。今、大体10月と3月というような曖昧な表現になっておりますが、具体的な日付まで決められればいいなと思っております。

それから主要駅から会場間の資源の活かし方ということで、各会場ごとの地域特性等を活かした検討、それから「出展展示・植物調達」、「会場運営・協働推進」、「広報・PR」については、お時間の許す限りというところでございますが、基本的には、今後個別ヒアリングなど、そういったところで検討させていただければと思っております。以上でございます。

#### <意見交換>

### 福岡 幹事長

ありがとうございます。

資料2のほうには、主に事務局で議論した内容が提示してございますけれども、もちろんそれ以外でも御意見等、いただければと思っております。

それでは御意見等がある方、挙手をお願いいたします。

はい、それでは、矢澤委員。

## 矢澤 幹事

セレサの矢澤です。主に植物調達というところですが、今月半ばに、花卉生産者で構成される花卉部という組織の会議を行いまして、緑化フェア推進室の方々にもお越しいただいて御説明をいただいたところです。資料にも載っているとおり、10月と3月と、この2つの開催時期についても御説明いただきました。その中で、10月中旬の開催につきまして、1ヶ月前の9月半ば頃に、富士見公園や等々力、そういったところに植栽をする予定ですよという現時点でのお話をいただきました。ただ、現状の栽培状況に照らし合わせた中ですと、一番出荷しているのが10月中旬頃で、現状、農家さんは花を栽培しております。9月中旬に現地に植栽して、飾り付けをするということになりますと、川崎市の農業技術支援センターが多摩区の菅にありまして、そちらの方にもちょっと見に行ったのですが、どうしても植栽、地植えをしたところ、現時点の栽培スケジュールですと、100円玉ぐらいの大きさにしかならない。この状態ですと、なかなか現実的ではないのかなというところが正直なところでありまして、単純に前倒しで、種まき、播種、そういった時期をずらせばよいのかというところもあると思いますが、なかなか未知のところでもあります。播種、種まきをして、発芽率が実際落ちると思うんですね。種まきをして、そこからの管理といったところも今までやってないわけでありまして、私としては限られた時期であります。試験等を協力しながらやっていきたいところでもあります。つきましては、開催時期が、正式決定ではないのであれば、若干時期の検討をお願いしたいと思っております。

以上です。

## 福岡 幹事長

矢澤様、ありがとうございます。

都市緑化フェアは、通常春の時期の5月か6月に開催の場合が多かったのですが、今回10月中旬から11月上旬と、3月上旬から3月下旬ということで30日ずつと少し変則的な形になっております。

今の矢澤様の御意見に対して事務局の方から何かあれば、お願いいたします。

## 事務局（藤島課長）

矢澤様、御意見ありがとうございます。いただいた御意見、こちらの方で受け止めまして、開催期間の検討、熟度を上げていきたいというふうに考えております。

かわさきフェアでは、川崎で育てられた花、そちらのほうを市民の皆様、また、来街者の方々に見ていただくといったことが重要と捉えておりますので、花が一番いい時期に見られる、そういったことを踏まえながら考えていきたいと思っております。また、皇室行事である緑化祭、生田緑地にごございますばら苑、こうした施設、地域資源がございますので、こうした開催時期との連携が重要な観点かなと思っております。また、春はサクラ、そうしたものが

市内の至るところで名所等となっておりますので、こうした部分も合わせて総合的に勘案しながら、いただいた御意見を踏まえて検討してまいりたいと思います。

以上でございます。

**福岡 幹事長**

はい、ありがとうございます。

それでは、引き続き御意見をお聞きしたいと思います。なんでも構いませんので、挙手のほう、よろしく願いいたします。

**事務局（木村次長）**

事務局からよろしいでしょうか。

**福岡 幹事長**

はい、事務局、お願いします。

**事務局（木村次長）**

皆様に、少しイメージを持っていただけるようにと、今回「川崎日和り」という川崎市の観光ガイドブックと「かわさきフラワーマップ」、それから、日付について、2024年と2025年の10月、11月と、次年の3月、4月のカレンダーを付けてございます。また、A3縦の資料、過去の全国都市緑化フェアの開催状況、他都市の開催事例がわかる資料をお配りしております。

**福岡 幹事長**

渡辺委員、お願いします。

**渡辺 幹事**

質問もよろしいですか。

過去の事例をみますと、入場券、入場料ですね。基本、無料なんでしょうけれど、入場料の有無を今後考えているのですか。

それと、このへんは非常に難しいのですけれど、集客の目標、もちろん川崎市民、全員が来場してくれば理想ですけど、どのくらいのエリアに、どのへんのターゲットエリアまで対象にするのか、その辺はこれから詰めていくと思いますが、現時点の見通しなど教えていただければと思います。

**事務局（藤島課長）**

御質問ありがとうございます。

まず入場料についてでございますが、現時点で確定的なものはございません。ただ、現時点では会場への入場料は無料という形で検討進めていきたいというふうに考えております。ただ一方で、会場での様々な出店ですとか、ブース等については今後検討していきたいと考えております。様々な体験をしていただくにあたって、そこに一定程度の御負担をいただくといったような考え方は、案の1つとしては出てくるかと思っております。

そうした部分も踏まえまして、今後、検討を進めていきたいというふうに思っております。

また集客の目標でございますが、まず、現時点で具体的な集客目標というところは置いておりません。緑化フェアの大きい目的が今、渡辺委員おっしゃっていただいたように、市民総参加で作り上げていく、総参加でフェアを展開していくといったところが1つ大切な考え方であると思っております。また、この緑を生活の中に、いかに取り入れて、川崎の新たな文化としていくかといったところがこの開催の目的でもございますし、また得ていきたい成果でございます。そういうことも勘案いたしまして、集客については、交通の関係ですとか、運用面の部分でどうしても想定はしていかなければならない部分はありますけれども、それを公表するかどうかも含めまして、今後皆様方の御意見も踏まえながら、検討をまとめていきたいと思っております。

最後にターゲットとするエリアでございますけれども、これも現時点で具体的なものはございませんが、やはり川崎の緑、川崎の良さ、また川崎の資源、こうしたものを広く知っていただきたいというのが私どもの思いでございます。やはり広く川崎に訪れていただいて、川崎の魅力を知っていただくといったことが1つ、目標にはなってくるかと思っておりますので、川崎市民総参加はもちろんなのですが、外からの来場者も見込んでいきたいというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

#### 福岡 幹事長

よろしいでしょうか。

#### 渡辺 幹事

はい。これから詰めていくということですね。わかりました。

#### 福岡 幹事長

私も、少し今のお話を重ねて、資料4の中にみどりの共創プロジェクトと書いてございますけれども、川崎市には150万人市民おりますので、市民の中のどれぐらいの割合をここにかけっていく目標に立てるのかということは少し大事だなと思っております。なかなか市民一人一人の皆様を意識していくことは難しいので、どうしても緑化フェアとなりますと緑の関係者だけに終わっている場合も多々あります。ですから、例えば密度が高いエリア、もしくは組織や団体、それから多様な主体というふうに川崎市の方は掲げていますけれ

ども、そういったところに重点的に例えば助成をしていくとか、そういった仕掛けや、ターゲットという御指摘は非常に重要だと思いますので、そのターゲットをもう少しこの資料による市民の共創、みどりの共創に合わせて、少し考えていく必要があるかなというふうに思いましたので、補足させていただきました。失礼しました。

それでは、引き続き御意見等ありましたら挙手をお願いいたします。

米川委員、お願いします。

### 米川 幹事

主要駅からコア会場間の資源というところで、主要駅から会場までの道のりは、緑を感じながら歩いて楽しめるということで記載がありますがけれども、この3会場は、主要駅からかなり離れた会場もあると思います。また、緑化フェアに参加する方は、川崎市民だけではなく、相模原の時はかなり県内各地から来客が見えたように記憶しております、こうした時に、1日でこの3会場を見たいという方もいらっしゃるのではないかと思います。そういったときにシャトルバスの運行だとか、そういったことは、これから検討されていくのでしょうか。

### 事務局（藤島課長）

御質問、ありがとうございます。

3会場で、御質問のように、1日で感じていただけるか、回っていただけるかということですが、今、現時点の私どもの基本的な考え方といたしましては、1日で3会場を回っていただくというよりは、ひとつひとつの会場を回っていただくという考えです。回っていただく場合は、複数日で回っていただきたいという思いがございます。というのも、会場だけ見て終わるのではなくて、例えば市内の宿泊施設に宿泊をいただくとか、別の、例えば商店街、そうしたスポットを楽しんでいただきながら回っていただく、といったような形を考えていきたいという思いがございます。

もうひとつ、駅から会場までのアクセスでございますが、公共交通機関を使っていただくことを基本と考えておりますが、やはり、土日のピーク、そうしたところについては一定程度、手当が必要かなといった認識は持っているところでございます。

以上でございます。

### 米川 幹事

ありがとうございました。よくわかりました。

もし、バスの運行等が予想される場合は、相模原の時もそうだったのですが、道路の拡幅とか、新設道路の共用と、色々道路整備がなされたのですね。バス輸送中心になると思うのですが、あとはマイカーです。マイカーに対し、相模原では駐車場を相当整備しました。そ

ういったことで、直接マイカーで来られる市民の方もいらっしゃると思いますので、その辺の検討をこれから一緒にさせていただいて、特に新設道路の場合は、標識ですとか、信号機ですとか、公安委員会がらみの予算がかかりますので、もしそういったことがあれば、早めに言っていただければ、私の方で県警とのつなぎ役ということでお話をさせていただけると思うので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

#### 福岡 幹事長

はい、ありがとうございます。そのほか、御意見等ございますでしょうか。

はい、反町委員、お願ひいたします。

#### 反町 幹事

あまり詳細な技術的なことはわかりませんが、主要駅からコア会場の商店街の活用について、少し意見を申し上げさせていただきたいと思ひます。

今の商店街の状況とかを少し申し上げますと、川崎市内、非常に商店街ごとに凄ひ元気なところと、一方で色々な意味で集客面や後継者不足とか、そういった部分で非常に苦しんでいらっしゃる商店街さんも多いです。なので、一概に商店街といつても、かなり状況が違ひのですね。そんな中で本当に頑張っている商店街もあります。ですから、是非、そういう元気な商店街は当然盛り上げていこうという状況はつくりたいと思ひていますし、つくれると思ひています。そんな中で、1つ、例えば商店街つていうと、当然色々なお店の種類がある中で、お花屋さんもござひますので、商店街のお花さんにわかりやすい形で御参加いただける、御協力いただけるような仕組みができたらいいなと思ひます。例えばコア会場につながる、関連のある商店街があれば、市民の方が通行される時とかに、その商店街に装飾する植物を地元の花屋さんが活躍できるような仕組みができたらすごくいいかなと。そういうことになることによって、商店街全体として、緑化フェアへの気持ちが高まったりするのかなと思ひます。

植物の調達についてどこまで決まっているかは私もわかりませんし、色々な関係があると思ひるので、そのあたりは調整が可能な範囲ということだと思ひのですが、緑化フェアの開催にあたって、やはりひとつはできるだけ地元の商店街をどこまで活用できるのか、どんな仕組みができるのか。もちろん、これは商店街だけではなくて、緑化フェアをつくっていく上で、色々なお仕事が生まれると思ひるので、できるだけ地元の団体とか地元の企業とか、そういうところに仕事をお願ひする仕組みができればと思ひ次第です。以上でございます。

#### 福岡 幹事長

ありがとうございます。続きまして、深町委員、お願ひいたします。

#### 深町 幹事

深町です。よろしくお願いいたします。いっぱい言いたいことはあるのですが、時間も無いということで。今、商店街の色々な方の参加の話がでましたが、私は是非、子どもたちに参加していただきたいと凄く思います。緑化フェア、こういった大きなイベントだと、どうしても大人が中心になってしまいます。是非、川崎のまち、たくさん子どもたちもいますので、小学校ですとか、保育園ですとか、色々な子どもたちがいます。その子どもたちからも、自分たちが緑と花のあるまちを育てていくんだという意味でも、是非、参加していただきたいなと思います。ちょっと実現できるかどうかはわからないのですが、例えば学校関連とか、そういったところに協力していただいて、みんなが種を播いたり、苗をつくったりとか、花だけではなくて川崎って農業も若干あるので、例えば10月、3月と区切ってしまうと、なかなか花を選ぶのも大変ですけども、農業的には色々な収穫物があるいい時期ですので、例えば、セレサさんからヒマワリの畑の話がでました。10月というとヒマワリはもう終わっているんですけど、ちょうど種とりの時期になります。ヒマワリの花は夏に咲いて、収穫期には種がとれます。その種をみんなで収穫して、それで油をつくろうとか、あるいは茎をくんでそこから繊維をとろうとか、色々なものに加工ができるのです。植物、野菜は最後まで無駄がないので、そういったものも、教育的に子どもたちに伝えられるし、私たちも認識できるものなので、緑を通して私たちの暮らしを見直す、そんなことを通してこの緑化フェアに取り組んでいけたらいいなと思っています。子どもの参加は、凄く重要ななと思います。

#### 事務局（藤島課長）

深町様、御意見ありがとうございます。

私どもも、今言っていたいただいた思いと同じでございまして、この緑化フェア、次の100年の主役を担う子どもたちの参加というところが大事と思っております。

そうした思いから学校との、そうした調整というのは、今、進めているところでございます。また今おっしゃっていただいた内容について、私も2人の子どもの親として、是非学んでほしいことだと思いますし、こうしたことを緑化フェアの中で多くの人に知っていただいて、この緑のコミュニティーというものを増やしていくような方向で取組を仕立てられるよう、皆様方のお知恵を借りながら検討を進めてまいりたいと考えております。以上でございます。

#### 福岡 幹事長

ありがとうございます。反町委員、深町委員の御意見に関して少し補足ですけども、反町委員から話がありました熱量の高い商店街さん、それ以外にも川崎市の企業さん、それから組織、団体、様々あるかと思いますが、我々、通常イベントなんかやる場合はリストなどをつくって、そこにこちらから働きかけて一緒に何かやりませんか、ということをするわけですけども、是非、緑、花の産業に限らず、それと掛け合わせるということをここに書いて

ありますので、そういうことを意識してどんどん一緒に動いていただくといいのかなと思います。

それから、深町委員の御意見にありました子どもですけれど、私も高校訪問をしていますと、川崎市内の高校さんでも、子どもの時に早野でこういうことをしたとか、色々な活動をして、その結果、うちの学校に来るっていう学生が結構多いのですね。10年後、20年後に、そういったものが影響を与えるということは凄くあると思いますので、非常に重要な御示唆かなと思いました。それから食に関して、まちづくりの文脈では、エリアマネジメントとか、それから不動産、皆さんSDGsを頑張っていますけども、その中で特に花とか植物そのものよりも食の循環とか、それからそれを食べて使って、体に取り込んで、あまるものがないように、もう1回、それをみんなで回していくというようなことが非常に盛んになっておりますので、うまく巻き込み方としてもそうことは大事かなというふうに思いましたので、ちょっと補足として、メッセージとして付け加えさせていただきました。

それでは引き続きまして、ぜひ、御意見をよろしく申し上げます。

今井委員、お願いいたします

#### 今井 幹事

例えば、横浜の緑化フェアに行ったときに、日本大通り、横浜スタジアムから向かう通りが凄く素敵にできていて、素晴らしいなと思ったのですが、横浜と川崎では違うので、一概にどうかと思いますが、その点、コンセプトというか、どういう演出というか、どういうビジョンみたいなものを考えているのでしょうか。

あと、街路樹ですが、既存の街路樹等、各沿線にありますけれど、場所によっては、良い街路樹もありますし、そうでないところもあります。維持管理等について、よろしく願いいたします。

#### 事務局（藤島課長）

今井委員、御意見ありがとうございます。

まず、最寄り駅からコア会場までのアクセスの面でございますけれども、やはり、駅を降りて、まず緑化フェアというものを感じていただける、そういうしつらえ、仕掛けというところは大変重要なかなという認識がございます。

そうした意味で今おっしゃっていただいた街路樹ですとか、あるいは彩りある花の展示ですとか、そうしたところは、来街者の方々、コア会場への入場者の方々含めて、フェアの会場に行くまでの道のりを盛り上げていく、そうした観点からも、とても重要な仕掛け、演出であるかなというふうに考えています。

ただこれは行政側だけから一方的に展示していくということだけではなくて、やはり、そこを作り上げていく時に市民の皆様と一緒に作り上げていくようなそういう仕掛けというところは大切にしたいなと思っているところでございます。



また、既存の街路樹の維持管理についてでございますが、これはもう言うまでもなく、今井様含めた造園業の方々との連携ですとか、また、植物、生き物でございますので、そうしたところも踏まえて、剪定作業ですとか、そういったものを進めていくといったところは当然のことかなと考えております。そうした中で、そうした考えも十分大切に置きながら、優先度等を踏まえて計画をまとめていきたいという思いでございます。

以上でございます。

#### 福岡 幹事長

ありがとうございます。そのほか、御意見等ございますでしょうか。

栗原委員、お願いいたします。

#### 栗原 副幹事長

開催時期についてなんですけれども、一応10月と3月ということで、さっき色々とお話があったと思うのですが、毎年、日比谷でガーデニングショーを大体10月の半ばぐらいから10月後半ぐらいにやっていて、10月は花は結構厳しいかなと思っていたんですけども、意外とその時期に合わせた作り方というか、意外ときれいに見せているなという部分もあるので、そういうやり方もあるのかなと。これ、花屋さんは結構大変だなと思うんですね。開花のコントロールをして、種まきの時期を変えたりとかという部分もあるので大変だなと思うのですが、逆に、何かそういった新しいチャレンジみたいな形でできると非常に面白いなと思っています。何かそういった取組みみたいなことができないのかなというのがひとつあります。

あと、やはり10月、3月というのは、非常に間は空いているのですけれども、先ほど子どもたちの参加の話もあるもので、10月に仕込んだものが3月に花開くみたいな、そういうつながりみたいなものができると非常に面白いのかなと思いました。ですので、色々な栽培とかも相談をしながらやっていかなきゃいけないと思うのですが、何か新たなチャレンジとして、検討していったらどうかなという感想を持ちました。

#### 事務局（藤島課長）

栗原委員、御意見、ありがとうございました。

今言っていた、新しいチャレンジというのはとても重要な視点だと思います。その新しいチャレンジと、生産者様とのバランスというところはうまく図りながら、チャレンジしていく部分は大いにチャレンジをしながら、そしてその結果が、結果的には川崎の花卉農業生産者の方々のポテンシャルアップにつなげていけるということであれば、それはもの凄く川崎市全体にとって幸せなことだと思いますので、そうしたところは意見交換をしながらバランスよく進めていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

## 福岡 幹事長

ありがとうございます。

引き続きまして御意見等ありましたら挙手をお願いします。

渡辺委員、お願いいたします。

## 渡辺 幹事

開催時期については、花のコンディション、主役はもちろん市民でありますけれども、花と緑ということで、グリーンですよね。そこにどこまで踏み込むか。それからセレモニー関係とか何かやるのだったらやはり休日がほうがいいのか、色々な要素をちょっと入れ合わせて、お決めになればいいのではないかというふうに思いました。

主要駅からコア会場のことや、共創のプログラムなど、今回相当出てくるんですよ。もの凄くてんこ盛りに色々なものが出てくる。ある意味いいと思うのですが、でも最終的に編集をする技術があると思うのです。だから、例えば1日1回のコース、3回で回るコース。テーマはどうなのか、それからストーリーを分かりやすくしないと、いっぱい見た場合に、どこから見ていいのかよくわからないような話にはならないように。まずは、でも、どんどんどんどん出してもらって、最終的にそれをうまく編集していく。その編集をして、わかりやすく、今回の川崎としての打ちだしをバシッと出す、そんなことをやっていけばいいと思う次第です。

## 事務局（藤島課長）

渡辺委員、ありがとうございました。

おっしゃっていただいたとおりで、たくさん、色々なアイデアが出てきて、では、それをどういうふうにまとめていって、分かりやすく展開していくのかというのが重要な視点かと思っておりますので、いただいた意見を踏まえて運営等に努めてまいります。

以上でございます。

## 福岡 幹事長

ありがとうございます。

萩原委員、大西委員、是非、御意見あれば。

大西委員、どうぞよろしくお願いいたします。

## 大西 幹事

御指名ありがとうございます。少し感想と言いますか、羨ましいなと思っている部分なんですけど、今までこういったお話を聞いてきたところ、非常に重要なファクターかなと聞かせていただきました。

例えば熊本のフェアは非常にスタイリッシュで、結構有名な方がいらっしゃって、PRにも、非常におしゃれに、色々な方をいれておやりになっている感じでした。ここのフェアは電通さんが入っていらっしゃったのかなと思うのですが、そういうコンセプトで、市民の方、全体の方々、それから対外的な見え方としてスタイリッシュに、おしゃれに仕上げたのかな、というふうに見えるようなフェアのつくり方だったのかなと思います。また、中を見ると、細かいところでは年配の方も、お子さんもと、色々な仕掛けがあったんでしょうけど、対外的な見せ方の骨子、骨となる部分はそういったものだったのかなと思って見ていました。

今回、かわさきフェアにあたって、どういうふうな見せ方にすると素敵なフェアになるかなと思っていて、その中で、次の100年に向けて、川崎にみんなが住んでいてよかったとか、このフェアがあったからとか、子どもころはこういう体験をしたから、だから、川崎というまちが好きでとか、自分の子どもにもこういう体験をさせたいんだ、みたいな、そんな感じのフェアなのかなと個人的には思いますけれども、参加される方の、どういう感情を想起すると面白いフェアになるのかなという視点を、今後だとは思いますが、皆さんの御意見を伺っていきたいなと思っておりました。結構、みどりで何か掛ける何かとか、こういう企画が100年先に向けて、という内容といったものは理解できるんですけど、そこに参加したときの、参加者の感情がどういったものになっていくとイベントとして我々がやりたかったことに近づいていくのかということが非常に重要で、その感情を想起させるための企画であったり、アイデアというのは重要だなと思いつつ、どんなふうなのがいいかな、と少し悩んでいたという感じです。具体的なアイデアはありませんけれど、コメントとさせていただきます。

#### 事務局（藤島課長）

大西委員、御意見ありがとうございます。

参加していただいた方の感情をどう刺激するといいのか、また、参加した感情になるのかというところがございますけれども、色々なお考えはそれぞれあると思います。今3つのコア会場では、それぞれコンセプトを定めております。その中の1つとして、等々力につきましては、体験・体感というコンセプトを掲げているところがございます。みどりに関わることでの体感・体験です。これがどれだけ人の本能と言いますか、魂に刺激を与えていけるかというところも1つ重要なところかなと思っております。具体的に、それを今後お示ししていくわけですが、そういった印象に残るような、参加したこと、楽しかったこと、嬉しかったこと、また心が満たされた、というようなところがしっかりと心の中に刻まれるようなものというのはどういうものなのか、そうしたところも中で議論しながら、皆様方の御意見をお伺いしながら、取組の方をまとめていけたらというふうに考えております。

以上でございます。

#### 福岡 幹事長

それでは萩原委員お願いします。

## 萩原 幹事

いくつか問題点というか、課題が出てきたかなと思うのですが、子どもの観点から言うと、懇談会の時にはあの小杉小学校の校長先生が代表で出てらっしゃいましたし、とにかくこれからの川崎の未来について、日本の未来についても子どもが肝心だよねという話がとてもたくさん出ていたので、先ほどみたいな、具体的なお話があるととてもいいなと思ったので、このメンバーの中にはなくても、ちゃんと川崎市さんの方で学校と連携して色々なことを仕掛けてつくっていただければ、それが無難かなというふうに思いました。

それと次に、開催時期ですけど、セレサさんがおっしゃったみたいに、やっぱりどの時期にどのぐらいの日照や降雨が必要かというのは、生き物なので違うんですね。

例えばパンジーの配布会をする日とか決めていても、結局全然まだ配布できないっていうことがあるので、今回、10月の中旬から11月の中旬と、まだ具体的にははっきり日にちが決まってないですけども、日にちを定めて、その頃に見栄えのいい花をこの花壇でこういうふうにしましょうみたいなことをしたとしても、ずれていたりします。本当に生き物相手なので、凄くそういう調整が難しいかなと思います。しかし、決めないことにはどうしようもなく、時期は多分先に決めなければならないので、そのちょっと色々なアレンジが必要になってくるところに、腕のみせどころがあるのかなと思いました。

それと、飲食の方で考えますと、やはり、採れるお野菜にしても色々なものにしても、やっぱり収穫量が色々あるんですね。それで、川崎市内や、3会場の近くの飲食店で、それで盛り上げるために何かやりましょうみたいなことになったとしても、まずそれを川崎育ちでもって行うのであれば、例えば、レストランとかホテルとかに仕掛けないと、やはり凄く限られているんですね。神奈川県内のものであったらいいことにしようとか、その点は、具体的には何ができるのかなと、手探り状態ではあるけれども色々な入り口があるかなと思いますので、仕掛けていければいいかなと思っています。

あとは、やっぱり懇談会の時にだいぶ話が出ていたと思うんですけど、各3会場、バーチャル空間みたいにして、スマホとかでもそれが見られるように、また、その空間に地域の商店街の店だったり、一緒にフェアを盛りあげている飲食店があったりして、情報が出てきて回れるといいよねっていうのがあったと思うんですけど、実際にはそれをどこからやってくださるのか、ちょっとそれが心配です。この幹事会にしても、年に2回か3回で終わってしまうことなので、コツコツやっっていかなきゃならないところが結構あって、やっぱり今回、SNSの発信とかっていうのもすごく大事な部分かなと思います。チラシ1枚作ってとかではない部分がたくさんあるかなと思いますので、そこはちょっと実行部隊が入ってくださるとありがたいと思います。

あと、この共創プロジェクトというのは、どのぐらい、どんな具体的な案件が出てきているという情報をもし教えていただければ、それが結構核になってくるものだと思います。気が

つくと全部終わっているっていうことではなく、幹事会の皆さんで情報共有できれば嬉しいなと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

#### 事務局（藤島課長）

萩原委員、御意見ありがとうございます。

飲食の部分については、やはり、川崎産の展開っていうところを目指したい一方で、やはり、おっしゃっていただいたように生産量の部分というのは大きい課題だなという認識がございます。

川崎市は、小学校、中学校の給食でも、市内産の農産物を使っているということで、かなりそちらにもさかれているというような現状もございますし、そうした中で、川崎の市内の飲食店等におろしていくのかというようなところは、やっぱり課題としてあるかなと思います。そうしたところも踏まえながら、どういう展開ができるかというところを検討していきたいと思っております。

また、バーチャルの件でございますが、昨年度の懇談会でも御意見いただいております、今私どもで、このバーチャルを使ってどういうところを目指すのかというところの検討を少し高めていきたいと考えているところでございます。

まだ具体的にお示しできる段階ではないのですけれども、その辺りをいただいた御意見を踏まえながら検討していきたいと考えております。

共創プロジェクトにつきましては、第1回目のキックオフセミナーをオンラインでやるんですけれども、今週からこちらの募集を開始しております、現時点で、大体50社ぐらいまで申込みをいただいているところでございます。今後、また増えてくるかなと思っております。

また、案件、テーマ等については、まだ具体的にカチッと決めて臨むということではなくて、資料でもお示ししておりますとおり、4回のワークショップを行っていくということになっておりますので、このワークショップの中で、テーマと、その参加者の方々と話し合いをしながらまとめていくといったような形で進めていきたいと考えております。

以上でございます。

#### 福岡 幹事長

ありがとうございます。少し時間が過ぎてしまいましたが、私から一つだけ申し上げたい意見がございます。

主要駅からコア会場の資源等の活かし方でございますけれども、本日の資料3の中に、3会場のコンセプト図が示されております。それぞれの会場をどうつなぐかという課題もあろうかと思っておりますけれども、この会場の骨格を見てみますと、例えば川崎駅周辺の富士見エリアの3ページ目に、商店街との連携や本庁舎等の活用、それから周辺の様々な資源が書いてあります。こういったものを、緑化フェアの実行委員会となりますと、どうしてもそれを成

功させようと思って、内側を固めて、あまり外との連携ができなくなってしまうという過去の経験がたくさんございますので、現在、川崎市さん、進行中の事業であるとか、様々な政策があると思いますので、是非そういった中に、どうやって緑とか、緑化フェアでもって、風を伝えられるかということを探りながら、それぞれの図の解像度が少し上がる形で、具体的な事業としてその組合わせとして示されていくのが良いかなと思いました。

私からは、そこだけちょっと申し上げさせていただきました。

少し時間を超過しておりますが、一旦、こちらで意見交換を終了させていただきまして、最後に、次第7の説明を事務局からいただきたいと思います。

#### 事務局（石垣課長）

ありがとうございました。

先ほどの補足というか、少し御確認だけさせていただきたいと思います。

2点ありまして、共創の話なんですけど、皆様、大変興味を持っていただけたことは大変ありがたいなと思っておりますが、あくまでも共創だけが緑化フェアではないとも思っております。共創の取組と既存の取組の接点を探していくとか、そういったことも大事だと思っておりますので、共創だけをやるということではございませんので、そこは御理解をいただきたいなというところと、時期の話なんですけれども、先ほどは10月にスポットが当たって話が進んでいたかなと思っております。色々な考え方はあろうかと思うのですが、先ほどの日比谷の話ですと、非常によくできているとか、花だけではない体験もあるとか、非常に生産調整が難しいといったお話があったと思うのですが、実は私どもが1番の課題として思っているのは、花の時期として3月の頭というのはどうなのかなというところ。それから、4月、サクラなどの地域資源がございますので、そういったところを、どうやって取り込んでいったらいいかというところが、実は私どもの課題だと思っております。そういったところについて、専門家の皆様の中で、特に植物の御専門の方に御意見を頂戴いただけたらと思っております。

#### 福岡 幹事長

栗原委員、お願いいたします。

#### 栗原 副幹事長

市内で色々なボランティアの方と花壇づくりをしているのですが、実は、今おっしゃられているように、サクラの頃というのは、サクラはきれいですし、花壇などもちょうど一番いい時期です。ですので、3月の後半から4月の初めというのは、市内に咲くお花には非常にベストの時期じゃないかなと思っています。

#### 福岡 幹事長

栗原委員、ありがとうございました。

深町委員、何かありましたお願いいたします。

#### 深町 幹事

私どもは農業関係なので、3月であれば、ちょうど菜の花の季節なので、サクラとその足元に菜の花と。例えば、多摩川の川べりに菜の花がワッと咲いてもきれいだなと思います。菜の花も食べられるものもあるし、油にするものもあるので、是非それを使っただければと思います。

#### 福岡 幹事長

矢澤委員、お願いいたします。

#### 矢澤 幹事

実際、3月の時期に市内産の花苗、花壇苗というのは、正直なところあまり栽培されていないのが現状です。というのも、暖房費が伴う温室での栽培ということが必須条件になります。

そのような中で栽培しているのが、年末にあわせたシクラメンで、これは小田中地区を中心に栽培されているのですが、基本的には栽培しておりません。その中で、緑化フェアにあわせて栽培を御準備いただく、そういった現状があります。

3月にもし仮に合わせて栽培していただいたとしても、時期によっては3月はまだ霜が降りる、そういった現状もありますので、暖かい、心地よい温室の中で育った花を外に出して、果たしてそれが本当に綺麗な状態を保てるのか、そういった課題が正直ありますので、早くても3月下旬、もしくは4月に入った中での開催が望ましいのかなというふうに思います。また、切り花、枝もの、サクラ関係、あと花もいっぱいあって、畑で枝を落として市場に供給されるのですけれども、そういったところの枝もの関係の装飾関係もつめて対応しないといけないと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

#### 福岡 幹事長

ありがとうございます。3月下旬以降のほうがいいのではないかという御意見ですが、非常に重要な課題で、この場での御意見だけでは収まりませんので、事務局の方でこれが本当に成り立つのかどうか慎重に調べ、御検討いただいて、それから、通常、その年だけでなく、数年前からまず実験で皆さんやられて、検証されていることもありますので、慎重に御検討いただければと思います。よろしいでしょうか。

#### 事務局（石垣課長）

はい。ありがとうございます。

## 7 その他

### 福岡 幹事長

それでは次第7の御説明をお願いいたします。

### 事務局（木村室長）

事務局の方で確認いたしましたけれども、特に「次第7 その他」としては、先ほど申し上げたところを確認いただきましたので、特にほかにはございません。

### 福岡 幹事長

ありがとうございます。

本日、皆様からいただきました御意見を踏まえて、事務局にて各事業計画のとり取りまとめをよろしくをお願いいたします。それから、本日、時間が限られておりました。是非、これはもしかしたら事務局の仕事を増やしてしまうのかもしれないけれども、様々な御意見、多分、具体的に色々おありになろうかと思っておりますので、そちらは事務局の方にメール等でお寄せいただきますと、さらに、この検討の内容が深まっていくのかなというふうに思いますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

それではここで進行を事務局にお戻しします。

### 事務局（木村次長）

福岡幹事長、ありがとうございました。

ただいま、いただきましたように、冒頭にも申し上げましたけれども、幹事会では、一同に集まっていただくだけではなく、個別に色々とお話をさせていただく機会も設けたいと思っておりますし、極力情報をシェアできるようにしたいと思っておりますので、御提案いただきましたメールでも、お許しいただけるのであれば、逐次情報を共有させていただければと思いますが、そういった形で伝えさせていただいてよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

では、そのような形で情報を取りながら進めたいと思います。

本日は第1回の幹事会ということで開催させていただきましたけれども、こうしたやりとりを踏まえまして、第2回は、出来れば2月頃に開催できればと思っておりますので、また改めて日程調整をさせていただきたいと存じます。

また、その間に個別ヒアリング等を実施させていただきながら、事務局として、事業計画の取りまとめを行いますので、引き続き、御協力をよろしくお願いしたいと思います。



## 8 閉会

### 事務局（木村次長）

それでは、時間も推してまいりましたけれども、閉会にあたりまして、今回の緑化フェアの事務局を所管しております、建設緑政局の福田局長より、最後に御挨拶をさせていただきます。

### 福田 建設緑政局長

建設緑政局長の福田でございます。

本日の幹事会、長時間にわたり様々な御意見をいただきまして、誠にありがとうございます。まだ第1回目ということでございましたけれども、この先、また幹事の先生方から色々な意見をいただきながら、それを参考にして、事業計画等の策定に向けて我々も頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

私からちょっと時間を超過しておりますが、一言申し上げます。本市の歴史的な背景を踏まえますと、高度経済成長期に工業都市として非常に発展してきました。その代償として、やはり環境問題というものが続いてまいりますが、市民の皆様や企業の皆様からお知恵を拝借しながら、その対応策を取って、ここまでの現状に持ってきたということでございます。その1つのツールとして、やはり緑というものが非常に大きなものでございます。例えば、幹線道路の脇に、グリーンウォールというものを設置しながら、その緑が持つ効能、特性を活かして少しでも大気汚染の負荷が軽減するような取組というものをしてきたという歴史もございます。今度はその緑を活用しながら、2年後に向けたかわさきフェアで、今後続くであろう、この緑を活かし、川崎市の発展に向けて、様々な取組をしていきたいというふうに考えてございます。それと、私ども建設緑政局は、平成22年に土木、建設部門の局と、緑部門の局の一部が合併して組織されました。

先ほど来、出ております、アクセス関係につきましては、その本来持っている土木の力を活かし、緑行政と連携しながら、様々な取組に取り組んでいきたいと考えてございますので、今後も委員の皆様方の様々な意見をいただきながら、我々も頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

### 事務局（木村次長）

それでは、以上を持ちまして第1回緑化フェア幹事会を終了いたします。

本日は、時間が過ぎましたけれども、次第に合わせて御協力いただきありがとうございました。

また、皆様の背面になりますけれども、緑化フェアのロゴを展示してございます。せっかくだので、時間のある方は、写真を撮ったりしていただければと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

それでは、本日はどうもありがとうございました。

<以上>